

業務目的

福岡市は、これまでの福岡PPPプラットフォームの運営において、事業化が確定した案件についての官民対話は実施していたが、PPPロングリストを掲載する段階での官民対話は実施しておらず、市内部で決定してきた。そのため、PPPロングリスト掲載前にマーケットサウンディングを実施し、PPPロングリストに具体名を掲載することで、福岡PPPプラットフォームのモデル性を更に高めるべく支援を実施することとした。

検討結果

1 業務の概要

事業分野	● 都市公園
事業概要	● 公園への民間活力の導入可能性の検討
現状と今年度の支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 約1,700ヶ所の都市公園について、民間活力の導入を検討する公園を抽出する基準(案)を作成し、これに基づき候補となる都市公園を抽出。 ● 抽出された都市公園について民間事業者に対してマーケットサウンディングを行い、参画意向等を把握。 ● 上記結果を踏まえ、ロングリストに掲載する都市公園を選定する予定。

2 事業可能性に係る検討

(1)PPPに適した公園の基準(案)の検討

- 以下の基準(案)を作成し、福岡市の1,643の都市公園についてスクリーニングを行った。

■PPPに適した公園の基準(案)

1~3のいずれかに該当する公園を対象とする。	
1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基準1 「福岡市みどり経営基本方針」において「広域から多くの利用者が集う公園」の対象とされている公園(総合・運動・歴史・地区・動植物園)
基準2~4を満たす公園	
2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基準2 一定の面積を有する公園(面積1,000㎡以上の公園) ■ 基準3 都心部または広域拠点に立地する公園(「福岡市都市マスタープラン」における「都心部」または「広域拠点」に立地する公園) ■ 基準4 駅から半径500m 圏内に立地にする公園
3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基準5 基準1~4のほか、福岡市のその他関連事業に伴い、整備する必要がある公園

(2)マーケットサウンディングの実施

- PPPロングリストへ掲載する公園を検討するため、左記の基準(案)を設定し、それに沿って抽出した9公園について、民間事業者の意向を確認し、PPP事業の可能性を評価した。
- その結果、3つの公園について、複数の民間事業者が活用可能性および参画意欲が高いと回答した。
- この結果も踏まえ、市内部で今後の事業化の可能性を更に検討し、来年度公表するPPPロングリストへの掲載を目指すとともに、福岡PPPプラットフォームにおける情報提供や、民間発案制度の活用なども含めて、今後の事業化を検討する予定である。

3 考察

- 福岡市は、これまで、PPPロングリストに掲載する案件は、原則、市内部の検討により決定してきたが、本ケーススタディでは、PPPに適する公園の選定について、官だけの視点で判断するのではなく、マーケットサウンディングを通じて民間事業者の意向を把握したことで、事業化の可否を適切に評価することが可能となり、市内の1,643公園の中から、PPPロングリストに掲載し得る公園を効率的に抽出することができた。
- 今回抽出した公園の中から、マーケットサウンディングの結果を踏まえ、来年度のPPPロングリストへの掲載を目指す案件を選定することで、民間発案を促進する効果が期待され、更なるPPP/PFI事業の推進につながるという。